



# 大宮南ロータリークラブ週報



No.1225 / 第1705回例会・9/24(10/1発行) 創立:昭和53年6月

例会日: 毎週火曜日 12:30~13:30

会場:サンパレス

会長 宗像英明 副会長 八木嘉奈枝・柴田 覚 幹事 堀田敏広

事務局:さいたま市大宮区2-51-8コーポKEN406 電話048-645-0180 FAX048-648-2188

“Engage Rotary Change Lives”

ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を

## 第1706回例会 プログラム

12:30 開会点鐘  
国歌斉唱「君が代」  
ロータリーソング  
ターゲット唱和・四つのテスト  
お客様紹介  
会長挨拶・報告  
今月のお誕生日  
幹事報告  
各委員長報告  
卓話  
出席報告  
ニコニコBOX報告

13:30 閉会点鐘

次にやどかりの里バザーが10月13日(日)にご  
ざいますので、提供品も大事ですが、皆様に当  
日行ってお買い求めいただければありがたいと  
思いますのでご協力お願いいたします。ポリオ  
プラスのキャップ回収ですが、あるだけで結構  
ですので、堀田幹事の方へお知らせ下さい。ま  
た先日の理事会でさいたまクリテリウムオフィ  
シャルサポーターズを会員の方々にもご協力さ  
せていただくということで、クラブからもご協  
力させていただきました。また中長期ビジョン委  
員会というのを立ち上げたいと思います。もう  
一度地域にとってどんな奉仕活動がいいのか?  
お話しができたらいいいのかと考えております。

さて本日も法律小話をひとついたします。今  
日は地方自治についてですが、日本は戦後に地  
方自治というのを憲法に条項としておくようにな  
りましたが、それはそこで暮らす住民の自発  
的な発想的なエネルギーを集約しそれを発揮さ  
せてそこに根ざした文化を保存していく意味あ  
いがあります。今日いらっしやっています清水  
市長も地方自治体の市長を自ら選挙して選ぶと  
いうことができ、自分の意志によってやるんだ  
という民主主義の根本を感じやすいのが地方自  
治だと思います。法律的に言うと権力が中央政  
府に集中していないで地方にばらけている権力  
があるということで、中央政府の権力の乱用を  
防止するということがあります。少数派の人た  
ちの人権も守らなくてはいけないという自由主  
義観点を取り入れて立憲民主主義の中身の重要  
な所を地方自治は担っているのではないと思い  
ます。今日は地方公共団体の市長さんの卓話  
を直接聞くことができるということで我々のさ  
いたま市の政治にいかせていただきたいと思います。

## 第1705回例会

- ・開会点鐘
- ・ロータリーソング 「我らの生業」

《お客様紹介》 副会長 柴田 覚  
さいたま市長 清水 勇人 様

《会長挨拶・報告》 会長 宗像 英明



皆様こんにちは、本日は清水市  
長にお越しいただき卓話をお  
願いしております。

まずいくつかお願いとご報告  
がございます。地区大会が11

月9,10日にございますので全員登録ということですので  
ぜひご出席をお願いいたします。



皆様こんにちは、大宮南RCの皆様にはさまざまな場面でご支援・ご協力をいただきまして、この場をかりましてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

まずは、さいたま市の現状と課題からお話ししたいと思います。今、さいたま市は65歳以上の比率が20%位でこの比率が急激に上がっていくというのが、さいたま市の特徴で団塊の世代、そのジュニアの世代がこれから60代70代になった時どうなるか？これが大きな課題になっています。もうひとつの課題は公共施設の問題です。いろんな公共施設の耐用年数がきていて、それをどう維持管理して改修していくかが大きな課題になっています。

一期目は「行財政改革推進プラン」を2010年から進め約192の事業のうち89.6%を達成し、**見える改革・生む改革・人の改革**という3つのプランでやってきました。

そしてその改革の中の目玉として、公共施設マネジメント計画というものがあり、老朽化した施設を維持し改修し長寿命化を図り場合によっては、施設の複合化しできる行政サービスの質を落とさずに改修していくかがポイントになってきます。それには2つの原則を作りました。ひとつはハコモノ三原則、もうひとつはインフラ三原則

### 【ハコモノ三原則】

- ・新規整備は原則として行わない
- ・施設の更新は複合施設にする
- ・施設総量を40年間で15%程度の縮減していく

### 【インフラ三原則】

- ・現状の投資額を維持していく
- ・ライフサイクルコストを縮減する
- ・効果的に新たなニーズに対応する

もうひとつの目玉は、提案型公共サービス公民連携制度をスタートしました。これは市や行政でやっている仕事を民間がやったほうが効果的でコストを下げることで高品質のサービスが提供できることを考え、ご協力いただくというものです。25年度の最新の市民意識調査を行った結果、「さいたま市は住みやすいか」には81.8%の市民が住みやすいと答えていまして、「住み続けたいか」には82.1%との市民が住み続けたいと答えています。これからはさいたま市が住みやすい都市だということを市民の皆様を含めて対外的にアピールし、さいたま市に進出したいと言ってもらえる企業を増やしていく、これを2期目の大きな目標にし選ばれる都市、住んでいる人たちがしあわせを実感できる都市を目指すことが目標です。

もうひとつのさいたま市として大きなプロジェクトとして大宮駅東口周辺のまちづくりでございます。そのひとつとして大門町2丁目中地区の開発ですが、大門町2丁目中地区リーディングプロジェクトとして東口を盛り上げていきたいと思っています。ひとつは公共施設の配置、もうひとつは民間の商業施設、業務機能として配置する予定になっています。おかげ様で事業協力者に三井不動産と鹿島建設に決定し、本年度中に準備組合を組合に衣替えして事業を推進し平成28年度には、完成させたいと考えております。また、大宮区役所も建て替えをし、今の県合同庁舎の辺りに移転する予定です。

さいたま新都市周辺のまちづくりに関しては

- ・都市活動の拠点、にぎわいあふれるまち
- ・広域的な安心、安全を担うまち
- ・豊かな緑と都市機能が融合するまち

この3つの目標を掲げビジョンを進めているところでございます。第8-1A街区にはさいたま赤十字病院、県立小児医療センターが移転、また反対側につきましては三菱マテリアルが土壌、地下水浄化工事を行い空いておりますので、防災拠点としても考えております。

それからスポーツ観光、商業都市戦略のこともお話ししたいと思います。「さいたまクリテリウム by ツールドフランス」という大会が10月26日(土)にさいたま新都心で開催され、ツールドフランス大会に参加している有力な選手が来ていただけます。これからはスポーツビジネスの市場を広げていくか、そしてこれを活用してどう経済の活性化に生かしていくか大きな課題でもあり、またこれからさいたま市は世界に全国にさいたま市のすばらしいイメージを発信していきたいと思っています。選ばれる都市に住んで市民がしあわせを実感できる都市に繋がっていくと信じて活動をしております。本日はその一部をお話しさせていただきました。このような機会をいただきまして本当にありがとうございました。



## 《幹事報告》

幹事 堀田 敏広

- ・会員名簿・理事会議事録・週報 配布
- ・さいたまクリテリウムオフィシャルサポーター募集について、法人サポーターとして当クラブから支援
- ・11月9・10日の地区大会への出席お願い
- ・ポリオプラスのキャップ回収のご協力

## 《各委員長報告》

親睦委員長 杉村 俊明

- ・11月20日(水)大宮南RCゴルフコンペ開催  
場所：太平洋クラブ佐野ヒルクレストコース  
スタート時間：8：28スタート 5組募集

## 《出席報告》

出席委員長 大淵 さくら

会員数39名 出席数23名 出席率58.97%



本日の合計 ¥23000

清水市長、卓話ありがとうございました。(宗像橋本・山崎・堀・八木・服部・佐藤・大沢・大淵福地・阪) 市長ようこそ。(矢崎・柴崎・黒白・樺沢)

清水市長、卓話ありがとうございます。ジャイアンツ優勝おめでとう！（斉藤）清水市長様、卓話ありがとうございました。二期目は更に清水色を出されることを願っております。（柴田）10月26日、クリテリウムに向けて盛り上がりましょう！清水市長、ありがとうございました。（渋谷）清水市長、卓話ありがとうございます。ツールドフランス成功に向け、協力いたします。（堀田）清水市長、卓話ありがとうございました。ツールドフランス楽しみにしております。（杉村根岸）本日は卓話ありがとうございました。又リレーフォーライフでは気分よく募金を引き受けて下さいましてありがとうございました。（藤井）清水市長、卓話ありがとうございます。これからは千葉ではなく横浜を意識して生活していきます。ツールドフランス楽しみにしています。（小平）

本日の司会：杉村 俊明

## 第1706回例会

会員卓話 柴田 覚会員

10月1日(火) サンパレス 12:30 点鐘